

米子東高等学校の現況等について

令和3年4月



はじめに

校長 田辺 洋範

日頃から、本校教育の充実発展に、地域の皆様をはじめ、多くの皆様からご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、オンライン授業の実施をはじめ、学校行事や部活動の大会の実施方法の見直し等様々な問題に対応しながら、無事令和3年度を迎えることができました。

部活動については、夏の全国大会が中止となり、昨年度の3年生は大変残念な思いをしました。現2・3年生は運動部も文化部も全国大会出場を目指して頑張っています。

さて、今春の進学状況については、国公立大学合格者269名（現役生206名、過卒生63名）、私立大学合格者延べ456名、短期大学・専門学校等合格者延べ7名（現役生6名、過卒生1名）という状況でした。特に国公立大学について269名という過去最多の合格者を輩出したことは特筆すべきことです。昨年度から導入された「大学入学共通テスト」に対応し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の育成に全校を挙げて取り組んだ成果です。今後も、教育活動のあらゆる場面で主体的な活動を推進し、体験活動を重視しながら、高い目標に向かって努力する生徒の育成に努めていきます。

生徒の皆さんは、3年間の高等学校生活で、自分自身の目標を定め、自分自身の能力を最大限に発揮し、社会に貢献できる人材となって、米子市、鳥取県、日本だけでなく世界でも活躍できるよう努力してください。教職員も一丸となって教育活動の充実に取り組み、生徒の夢が実現できる活動を推進します。

今後ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

教育目標	未来を拓く人財の育成 生徒自身がこれから先の未来を主体的に切り拓き、国際社会、情報社会、地域社会等に貢献できる人財になることを目指して米子東高等学校教育を推進する
柱	<ul style="list-style-type: none">▶主体的な学びの推進<ul style="list-style-type: none">・アクティブラーニング等による授業改善、適切な評価・SSH事業による科学的探究心、情報発信力、実践力の育成・進路指導の充実▶豊かな人間性の育成<ul style="list-style-type: none">・主体的・自律的態様の育成（規範意識、品格のある言動、主権者意識、TEAS等）・部活動の奨励・体験的な学びの推進（人権教育、異世代・異文化交流、読書活動の充実、ボランティア活動への積極的な参加等）▶地域に信頼される教育の展開<ul style="list-style-type: none">・PTA活動の推進・地域への発信（学校運営協議会の推進）
重点事項	◆新入試制度への対応 ◆SSH事業の充実・発展 ◆「体験活動」の促進

総務部 主任 橋井 哲朗

【主な業務】

- ・PTA活動に関すること
- ・PTA会報「米東だより」の発行（今年度は104～106号を発行予定）
 - * PTA総務委員会が中心となり、PTA活動や学校行事、部活動の結果など紙面を通じて皆様にお知らせしています。
- ・本校ホームページを通じての情報発信
 - * 旬の話題を提供できるよう努力します。

【PTA各種委員会】

- ・総務委員会・進路委員会・人権教育推進委員会・生徒育成委員会
 - * PTA活動は、委員会を中心に行っており、各学年から選出された評議員がそれぞれの委員会に所属し、さまざまな取組を行なっています。PTA主催の研修会等も企画されています。保護者の皆様の多数の参加をお待ちしております。

教務部 主任 米江 毅典

家庭学習時間について

昨年度の各年次における平均家庭学習時間は以下のとおりでした。本校では家庭学習時間の目標を、1年次は3時間、2年次は4時間、3年次は5時間としています。休日に限ると概ね目標に達してはいますが、全体的に家庭学習時間が不十分な生徒も多いようです。起床時刻、就寝時刻と学習開始時刻の3点を固定するなど、規則正しい生活を心がけ、家庭学習時間を確保するように引き続き生徒に促してまいります。また、昨年度から各教科・科目の評定については、定期考査だけでなく、科目ごとにパフォーマンス評価を導入しています。予習、復習などの日々の授業の大切さを伝えるとともに生徒の主体的な学びを推進してまいります。

今年度の1年次生から生徒1人ひとりがタブレット端末を用いて学習をします。国語、英語の辞書機能や数学でのグラフの描画機能など、各教科で様々な機能の使用方法についての研修を深め、タブレット端末が生徒の学習の助けとなるよう積極的に活用してまいります。

	2年6月（元年度）	2年11月（元年度）	3年2月（元年度）
1年平日	2.11時間（1.70時間）	1.88時間（1.55時間）	1.67時間（1.78時間）
休日	4.19時間（3.57時間）	3.65時間（2.86時間）	5.07時間（3.34時間）
2年平日	2.13時間（2.08時間）	1.97時間（2.22時間）	1.58時間（2.14時間）
休日	4.51時間（3.54時間）	3.79時間（3.35時間）	5.67時間（3.90時間）
3年平日	3.15時間（2.82時間）	3.79時間（3.78時間）	
休日	6.24時間（5.68時間）	7.26時間（7.16時間）	

各コースの人数と男女の人数について

令和3年度の各コースの人数と男女の人数は以下のとおりです。

	理 系	文 系	生 命 科 学	合 計
1年次生	243（6クラス）		40（1クラス）	283（7クラス）
	男112 女131		男24 女16	男136 女147
2年次生	141（3クラス）	142（4クラス）	40（1クラス）	323（8クラス）
	男84 女57	男51 女91	男26 女14	男161 女162
3年次生	134（3クラス）	139（4クラス）	40（1クラス）	313（8クラス）
	男82 女52	男41 女98	男21 女19	男144 女169

進路指導部

進路指導主事 廣 江 淳 一

最初に、今春の卒業生 312 名の進学先等の内訳を報告します（表 1）。

表 1 令和 2 年度卒業生進学先（延べ数）（令和 3 年 4 月 1 4 日現在）

卒業生	国公立大	私立大	短 大	専門学校等	就 職	その他	計
令和 2 年度	178	63	0	4	2	65	312

本校進路指導部は、

- ・主体的な学びおよびキャリア教育の両面から明確な進路意識を持たせ 3 年間を見通した指導を行う
- ・大学入試問題の研究や大学入試情報の収集を積極的に行う
- ・進路検討会を充実させ情報の共有化を図り教員間の連携を深める

の 3 つの目標を柱として進路指導にあたっています。令和 3 年度入試は「大学入試センター試験」（以下、センター試験）に代わる「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）の開始年度となりました。過去問などの十分な情報がない中での入試、くわえて、コロナ禍における先行き不透明な状況の中、現役生・過卒生共に、学びを止めず、進路目標を的確に定め、その実現に向けて最後まで粘り強く受験に立ち向かいました。敬意を表したいと思います。

さて、今春の入試を振り返ります。国公立大学の合格者数は 269 名（うち現役合格者数は 206 名）でした。これは過去 10 年間で最多の数字となります（表 2）。現役生・過卒生ともに健闘した結果でした。また、本校が定める難関大学（旧 7 帝大、東京工大、一橋大、神戸大、国公立大学医学部医学科および国公立大学薬・歯・獣医学部）には現浪併せて 61 名が合格しました。昨年度比で 10 名の増加となります。私立大学の現浪合わせた合格者数は 456 名となり、昨年より数は減少していますが、安全志向の高まりやWEB出願の増加により同一大学他学部への併願が容易になり、一人当たりの受験機会が増えたこと等が要因として考えられます。

次に、今年度入試に目を向けたいと思います。当初センター試験より「難化する」と言われた共通テストの平均点は、意外にもセンター試験よりもアップしました。しかしながら、多くの受験生から聞かれた声は「時間が無い」でした。これまでのセンター試験は「どれだけ知識を理解しているか」が問われたのに対し、共通テストでは「知識をいかに活用するか」が問われる試験に変わった影響だと考えられます。全体的に、資料の読み込みなど情報処理能力が要求されている内容でした。では、今後共通テストに向けどのような対策をすればよいかですが、最も大切なものは「授業」です。実験やディスカッション、SSHやグループ学習、プレゼンテーションなど、授業で行われる様々な活動に主体的に参加することで、判断力や素早い情報処理能力が養えます。また、共通一次試験やセンター試験でも、実施 2 年目は平均点がダウンしています。早めの対策と受験計画が必要となります。受験の「新しい生活様式」を心がけて行動してください。

最後に、進路指導部では、生徒の学力向上、進路志望実現のため充実した指導に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

表 2 入試年度別国公立大学合格者数の推移（延べ数）

	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	R 2	R 3
国公立大学	195	223	184	238	186	220	219	224	207	269
現役	136	166	130	172	139	159	161	166	147	206
過卒生	59	57	54	66	47	61	58	58	60	63

大 学 合 格 者 数（過年度卒を含む）

（令和 3 年 4 月 14 日現在）

【国立大学】

大 学 名	R2年度						
帯 広 畜 産 大	1	筑 波 大	2	東 京 外 大	1	山 梨 大	1
北 見 工 大	1	群 馬 大	1	東 京 学 芸 大	3	信 州 大	3
北 海 道 大	4	東 京 海 洋 大	1	横 浜 国 立 大	2	静 岡 大	2
岩 手 大	1	東 京 大	2	富 山 大	2	愛 知 教 育 大	1
東 北 大	2	東 京 医 歯 大	2	金 沢 大	1	名 古 屋 大	1

【国立大学】

大 学 名	R2年度
滋 賀 医 大	1
京 都 大	2
京都工芸繊維大	1
大 阪 大	7
大阪教育大	1
神 戸 大	7
奈良女子大	1
鳥 取 大	51
島 根 大	34
岡 山 大	31
広 島 大	17
山 口 大	4
徳 島 大	1
香 川 大	4
愛 媛 大	6
九 州 大	7
九州工大	2
福岡教育大	2
長 崎 大	1
熊 本 大	2
宮 崎 大	1
琉 球 大	1
< 合 計 >	218

【公立大学】

大 学 名	R2年度
札幌市立大	1
東京都立大	3
長岡造形大	1
京都府立大	1
京都府立医大	1
大阪市立大	2
大阪府立大	5
兵庫県立大	5
神戸市外大	4
島根県立大	4
新見公立大	2
岡山県立大	3
尾道市立大	1
県立広島大	2
福山市立大	1

大 学 名	R2年度
広島市立大	1
山口東京理科大	5
下関市立大	2
高知工科大	1
北九州市立大	2
九州歯大	1
長崎県立大	2
名 桜 大	1
< 合 計 >	51

【私立大学】

大 学 名	R2年度
国際医療福祉大	3
自治医大	2
獨 協 大	1
日 本 薬 大	1
神田外語大	1
千葉工大	1
東京歯大	1
青山学院大	1
杏 林 大	1
慶 応 大	4
工 学 院 大	1
実践女子大	2
順 天 堂 大	2
上 智 大	1
昭 和 大	1
昭和女子大	1
昭和薬大	1
女子美大	1
成 蹊 大	4
成 城 大	2
専 修 大	2
創 価 大	1
中 央 大	6
津 田 塾 大	2
帝 京 大	5
東京音大	2
東京家政大	1
東京女子大	1
東京理大	4

大 学 名	R2年度
東 洋 大	1
日本女子大	1
日 本 大	2
法 政 大	1
武蔵野美大	2
明 治 大	5
立 教 大	3
早 稲 田 大	7
横 浜 薬 大	1
愛 知 大	1
愛知学院大	1
中 京 大	1
南 山 大	2
名 城 大	2
大 谷 大	1
京 都 外 大	2
京都先端科学大	1
京都産業大	32
京都女子大	9
京都芸術大	1
京 都 橘 大	10
京 都 薬 大	2
京都光華女子大	1
同 志 社 大	19
同志社女子大	11
立 命 館 大	41
龍 谷 大	27
大阪医薬大	7
関 西 大	13
関西医大	1
関西外大	11
近 畿 大	54
摂 南 大	9
桃 山 学 院 大	3
関西学院大	15
甲 南 大	6
神 戸 学 院 大	4
神 戸 女 子 大	10
神 戸 薬 大	2
武庫川女子大	15
神 戸 常 盤 大	1

大 学 名	R2年度
帝 塚 山 大	3
奈 良 大	2
鳥 取 看 護 大	8
岡 山 商 大	4
岡 山 理 大	3
川崎医療福祉大	1
倉敷芸術科学大	1
くらしき作陽大	1
就 実 大	5
清 心 女 子 大	2
美 作 大	1
広 島 経 大	2
広 島 修 道 大	8
安 田 女 子 大	7
広 島 国 際 大	3
日赤広島看護大	4
徳 島 文 理 大	2
松 山 大	2
福 岡 大	3
< 合 計 >	456

【就 職】

株式会社読売巨人軍	1
西部広域消防局	1
< 合 計 >	2

【専門学校等】

YMCA米子 医療福祉専門学校	1
川崎リハビリテー ション学院	1
鳥取県立鳥取 看護専門学校	1
米子医療附属看護	3
NIC International college in Japan	1
< 合 計 >	7

生 徒 部 生徒指導主事 谷 川 賢 次

(生徒会)

1 生徒会活動について

次のような目標を掲げて、生徒会活動を実践させる中で、「自主」「自立」の精神と能力を養い、高校生活を送る上で快適な環境を築き、各自の将来に役立てるべく努力しています。

- (1) 学校生活を楽しく規律正しいものにし、よい校風を築く
- (2) 学校における集団活動に積極的に参加し、ルールに従って行動する態度を身につける
- (3) 自治的能力を身につける

また、年間の最大行事である柏葉祭は、生徒会執行部とともに柏葉祭実行委員会を組織し、企画・運営にあたっています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し、会場は文化の部を米子コンベンションセンター、体育の部をどらドラパーク米子陸上競技場で実施しました。制限のある中で、例年通りではなく、一から考えて実施した柏葉祭となりました。柏葉祭の開催に際しましては、物心両面での多大なご協力をいただいています。本年度も、これらの学校行事の教育的意義をご理解いただき、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2 部活動について

多くの生徒が校風の「文武両道」を目標とし、運動部、文化部、同好会などの活動を通して、勉学との両立を目指して頑張っています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの部活動で中国大会・全国大会が中止となりましたが、県高校総体の代替大会で、ボート部、バレー部女子、テニス部女子、サッカー部、水泳部、囲碁部が優勝を果たしました。また、ダンス部は全国高校生手話パフォーマンス甲子園へ2年連続出場、硬式野球部は秋季鳥取県高等学校野球大会で優勝し、中国大会では準決勝まで勝ち進みました。多くの部活動が、5月末に開催されるインターハイ県予選をめざして厳しい練習を行っています。このように、生徒一人ひとりが今後も「文武両道」の実現ができますよう、ご理解、ご協力および一層のサポートを、引き続きよろしくお願いいたします。

3 部活動後援会について

部活動が活性化するほど、全国大会や中国大会への出場も増え、遠方への宿泊費や派遣費が必要となります。本校でも、生徒会予算を立て、各部活動への援助を行なっていますが、十分に各部活動の要望に応えられていないのが実情です。そこで部活動後援会を組織し、諸活動の運営を円滑に行うために、生徒の経済的負担を軽減し、補助を行なっています。生徒一人ひとりの学校生活がより有意義なものになるように、お力添えいただきますよう、ご協力をお願いします。

4 環境整備作業について

生徒一人ひとりの環境意識を高揚させるために、学校施設の環境美化に重点を置き、日々の清掃活動や学校施設内の整理・整頓を心がけています。また、鳥取県版環境管理システムⅡ種（TEASⅡ）を導入し、清掃に関する講演会を開催するなど、自分たちの住空間の整備・維持に努めています。そして、生徒一人ひとりが主体的に、社会の構成員として成長できるよう活動しています。ご家庭でも話題にさせていただき、ご協力をお願いします。

(生活指導)

米子東高生として主体的に行動し、自覚と責任ある行動をとることができる人間の育成を目指し教育活動を行っています。

- (1) 時間を守る
- (2) ルールを守る（遵法精神）
- (3) 挨拶の励行
- (4) 地域に根差した人間の育成

を目標に、ルールが守れない生徒に対しては、その場で啓発・指導をします。

本年度より、生徒の安全を最優先に考え、自転車通学生は自転車用ヘルメットを着用するとともに自転車保険に加入しなければならないとし、令和3年・4年度を移行期間とすることにしました。1年次生は、自転車用ヘルメットの着用と自転車保険の加入を自転車通学許可条件とし、2、3年次生については、自転車乗車用ヘルメットを着用するよう指導します。

また、携帯電話・スマートフォンによる誹謗・中傷や様々な書き込み、軽率な写真・動画の掲載、安易な個人情報の流出など、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などのネットトラブルに関して常に注意を払い、秩序を乱す行為に対しては、厳しく指導します。生徒がトラブルや犯罪に巻き込まれないよう、保護者、地域、関係機関等と連携を密にして、トラブル防止・啓発に努めていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

生徒支援部

保健体育主事 田中春妃

生徒支援部には、生徒の皆さんが安心して安全な高校生活を送り、自信をもって自己実現に向かえるよう、様々な悩みや困りごとと一緒に考える4つの窓口があります。保健に関すること、人権に関すること、教育相談に関すること、発達の特性に関することなどで困ったとき、悩んだときには、保護者の皆様とともにサポートしていきます。本当の自立とは、何でも一人でできることではなく、自分の能力と限界を見極め、できないことも他者とつながることで乗り越えていくことです。生徒の皆さんがよりよく誰かとつながる高校生活を送れるよう見守っています。

(保健)

1 身体発育状況(令和2年)

◎身長・体重の平均(令和2年度)

年齢	項目 性別 別	身長(cm)				体重(kg)			
		全 国		本 校		全 国		本 校	
		男	女	男	女	男	女	男	女
15 歳		168.1	157.2	169.6	158.0	57.9	51.5	57.9	50.4
16 歳		169.7	157.5	170.0	158.2	60.4	52.1	61.2	51.9
17 歳		170.7	157.9	171.0	157.2	62.9	52.6	62.2	51.3

2 保健行事

【前期(4月～9月)】

身体計測、尿検査、内科検診、歯科検診、心電図検査(1年)、レントゲン検査(1年)、運動器健診
聴力検査(1年・3年)、眼科検診、デートDV予防学習会(1年)、性に関する指導講演会(3年)

【後期(10月～3月)】

性に関する指導講演会(2年)

〈保健室から〉

日頃「何となく気分が悪い」とか「頭痛・腹痛が続く」といった内科的な症状で生徒が保健室を訪れますが、精神的な要因によることも多くあります。

生徒が成長し発達していく過程では、何らかの心身症的な兆候を一過性に示すこともあるので、それほど神経質になることもないと思いますが、生徒自身の成長と発達を信頼しつつ、過干渉や放任にならないように気を配ることは大切です。

保健室では救急処置ばかりでなく、こうした観点からも生徒の心身両面への対応を教育相談と共に連携し、行っていきます。

(人権教育)

人権、平和への関心が高まる中、人間主体・人間尊重の精神が世界的な規範になってきています。自分の常識について他者を通して振り返ることは、一人の人間としての成長過程において不可欠です。人権意識を高めるために、日頃から「人権」について、ご家庭・地域等でしっかりと話し合ってください。

【人権テーマ】

- 1年次「自分にとっての身近な差別とは何か」
- 2年次「人権に関する諸問題や自己の解放について」
- 3年次「これまでの人権学習を振り返り、自らの生き方や人生観を考える」

【人権教育LHR】

- ・実施時期(各学年の人権テーマに基づいて実施)
 - 1・2年次：10月～11月
(10月・人権教育講演会、11月・公開LHR、1年次はワールドカフェ形式)
 - 3年次：6月

【PTA人権教育推進委員会】

- ・主な活動内容(予定)
 - 機関紙「ログスのこころ」発行(年間2回)発行
 - 研修会の開催(年間2回)実施
- *各種研修会等への保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

(教育相談)

教育相談の主たる役割は、生徒の個人的な悩みに対して相談に応じ、生徒が希望を持って前進できるようにアドバイスをし、それを手助けすることです。本校生徒が抱える悩みとしては、勉強に関すること、部活動に関すること、家族や友人との人間関係に関すること、自分自身の性格や特性に関することなどがあります。内容はさまざまですが、周囲の期待に応えたいと頑張りが過ぎていて自分に気づかず体調を崩してしまっから、やっと苦しい思いを打ち明けてくれる生徒が多くいます。困った時に一人で抱え込まず誰かに相談するという事は、自立への重要な第一歩です。つらい時には信頼できる大人や教育相談の窓口にぜひ相談してください。

【相談窓口】

- ・相談室（芸術棟 2 階） 担当：田中春妃（国語科） 前田洋子（芸術科）
- ・保健室（管理・教室棟 1 階） 担当：美甘あゆみ 柴田智恵子

【相談方法】

- ・生徒：直接相談室や保健室を訪れてください。
- ・保護者：担任を通じて、あるいは直接相談室や保健室にご連絡ください。（電話 2 2 - 2 1 7 8）

【スクールカウンセラーによる相談】

本校では教育相談担当教員とは別に、スクールカウンセラー（教育相談員・公認臨床心理士）も生徒や保護者の相談にあたっています。相談内容に特に決まりはありません。

- ・毎週火曜日（午後 1 人 45 分）
- ・予約制（上記相談窓口にて日程調整）
- ・近年実績：年間 80 件程度（生徒及び保護者の相談件数）

(特別支援教育)

近年、高等学校において、全国的に発達障がい等により特別な教育的支援を必要とする生徒が増加しており、指導・支援の充実が求められています。

本校においても、特別な教育的支援を必要とする生徒について、本校教育活動の中で適切な支援を行いながら生徒の学校生活をサポートしています。高校生の発達段階において、社会への自立を目指した効果的な指導・支援ができるよう、校内における支援体制を整備しています。その中で、生徒、保護者のご希望に応じて「個別的教育支援計画」の作成・活用等も行っています。

すでに医師による診断を受けている、診断はないが学校生活に困難さを抱えている、小中学校で特別な教育的支援、配慮を受けてきた等、知っておいて欲しいことやご相談等がありましたら、本校特別支援教育担当（TEL 0859-22-2178）までお問い合わせください。

教育企画部 教育企画部主任 小笠原 雅 史



本校は、H29 年度より文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として研究開発を行うこととなりました。SSH の概要は、上左図のとおりです。詳細については、SSH 指定校を所管する国

立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）のHP（<https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/>）をご覧ください。

教育企画部は、SSHの指定を受け、「科学的リテラシーを備えた21世紀を担うリーダー」の育成を目的とした研究開発を所管し、SSH事業の企画・運営・実施を支えます。この研究開発では、これからの社会で必要とされる「思考力」を中核とし、それを支える「基礎力」、その使い方を方向付ける「実践力」を理論的に育成することを目標としており、全校体制で学校設定教科「課題探究」を中心とした各種事業を実施することにより、生徒の持つ各種能力の伸長を図ります。

【教育企画部所管各事業（抜粋）】

<課題探究【国内研修】>

予定時期	内容
1年9月	鳥取大学探究的活動（少人数分科会による体験的実験実習・普通コース希望者）
1年9月	岡山大学探究的活動（少人数分科会による体験的実験実習・生命科学コース必修）
実施時期未定	Advance 国内研修（県外研究所などでの探究的活動・希望者）
2年8月	鳥取大学探究的活動（探究的実験実習・生命科学コース必修）

<科学を創造する人財育成事業>

予定時期	内容
10月	各界の第一人者による講演（全校・必修）、各分野ごとの実験・コンテスト（希望者）

<土曜活用事業【ふるさと鳥取学講座】【一流から学ぶ】（希望者）>

予定時期	内容
6月	「アロマオイルから学ぶ脳科学」（会場：米子東高校）
7月	「米子城探訪 下町から錦海から見る米子城」
9月	「山陰海岸から日本海の成り立ちが見えてくる」（若鳥丸・中海沖）
9月	「鳥取を創造拠点に！ 鳥の劇場の取り組み」（鳥取市鹿野町：鳥の劇場）
10月	「大山自然観察 大山の不思議と自然を知ろう！」（大山寺周辺）
11月	「一流コーチから学ぶ心のトレーニング」（会場：米子東高校）

< Science Challenge（希望者）>

予定時期	内容	募集時期など	
7月	物理チャレンジ	4月頃募集	そのほか高校生を対象とした各種学会、発表会への参加を支援している。
7月	生物学オリンピック	4月頃募集	
10月	情報オリンピック	9月頃募集	
10月	化学グランプリ	9月頃募集	
11月	科学の甲子園	9月頃募集	
12月	科学地理オリンピック	12月頃募集	
12月	日本地学オリンピック	1月頃募集	
1月	日本数学オリンピック	1月頃募集	
1月	県高校生生理数課題研究等発表会	12月頃募集	
3月	日本物理学会 Jr. セッション	1月頃募集	
3月	ジュニア農芸化学会	1月頃募集	
3月	発明楽コンテスト	1月頃募集	

<英語・国際交流関連（希望者）>

予定時期	内容	募集時期など
7月	小川奨学基金海外留学支援事業	令和3年度は中止 グローバル人財育成を目的とし、アメリカ・ボストンの語学学校で研修を行う。 (8日間程度 自己負担20万円程度)
7月	早原奨学基金海外留学支援事業	令和3年度は中止 グローバル人財育成を目的とし、イギリス・チェルトナムの語学学校で研修を行う。 (8日間程度 自己負担20万円程度)
9月	県高校生英語弁論大会	6月頃募集 上位入賞者2名は3月にニュージーランド派遣される。

10月～ 3月	グローバルリーダーズキャンパス	6月頃募集 スタンフォード大学の教員によるオンライン・ライブ講義を受講する。(無料)
10月	県・米国バーモント州青少年交流事業	令和3年度は中止 アメリカ・バーモント州の高校へ派遣される。 (10日間程度 自己負担6万円程度)
12月	桃園市立陽明高級中学訪問	7月頃募集 姉妹校へ訪問し、親睦・交流を深める。 (5日間程度 自己負担10万円程度) *中止となる場合はオンライン交流を予定
1月	県理数課題研究等発表会	12月頃募集 口頭発表上位入賞者は次年度6月に「鳥取県理数課題研究等発表会優秀者海外派遣事業」(アメリカ・バーモント州)に派遣される。
3月	S S H海外オーストラリア研修	令和3年度は中止 アデレード市の高校・大学などで科学に関する研修、調査を行う。 (8日間程度 自己負担15万円程度) *オーストラリアとのオンライン交流を募集予定

<参考> 長期・短期留学への補助金制度の案内は県教委主催で実施予定。

(図 書)

昨今の大学入試では、習得した知識のみを問うのではなく、知識を活用して思考し、解答する問題が多くなっています。そこで、読書による経験や情報活用の力をつけることを意識し、各教科・学年・分掌への資料提供や授業に対する支援を積極的に行っています。

また、図書館を生徒の多様な利用の場と考え、学校行事や学習内容に即した展示、海外留学や派遣を経験した生徒の報告会「Tickets-to-the-World Library」、読書推進の一環として「ビブリオバトル」、図書委員会の活動も行っています。

今後も本校生徒が進路を実現し、心豊かな人生を送るための手助けを図書館として行っていきます。

事 務 部

事務長 長谷川 恵美

事務部では、学校関係業務及び教育環境の整備等の事務を行っています。

施設設備の整備及び管理、授業に必要な教材や教具の購入、県予算の管理、生徒の在籍、卒業などに関する手続き、授業料(就学支援金)、学校徴収金の会計等の業務と広範囲に渡っています。特に本校は、全日制、定時制を併設していますので事務量が多く複雑ですが、学校運営の一員として、すべてが「生徒のために」の信念を基に事務室一同取り組んでおります。

1 学校施設整備について

平成31年3月に第3グラウンド改修工事が終了し、平成25年度から続いた「改築 整備事業」が完成しました。対象外となった西校舎と北校舎は、今後、教室エアコンの更新が検討されています。

2 奨学金制度について

各種の奨学金がありますので利用してください。

募集については、その都度ご案内をします。併せて学校ホームページへ掲載しますので、ご家庭でもご確認をお願いします。

ご不明なことがありましたら、事務室にお問い合わせください。

3 授業料・学校徴収金について

平成26年度の入学生から授業料の徴収が再開されました。ただし、世帯の課税状況を基にした申請により「就学支援金」として国から授業料として充当されます。昨年度から、手続きの省力化を目的として「個人番号カード」を利用した受給資格認定並びにe-Shienでの申請情報の確認・提出が開始されました。

諸会費等は、銀行等口座振替の方法により納めていただくこととしています。引き落とし日は授業料と同様に原則毎月26日ですので、前日25日までに残高確認や入金の手続きをお願いします。納入金額の詳細は、年度当初に一覧表を配付するとともに学校ホームページにも掲載しています。

その他、校外模擬試験代金などのご負担も多いことと存じますが、ご理解をお願いします。

4 環境教育の取組について

本校は鳥取県版環境管理システムⅡ種(T E A S Ⅱ)に登録し、全生徒・全職員を挙げて環境に配慮した活動として、CO₂削減に向けて節電、節水、ごみの減量化などに取り組んでいます。ご家庭におかれましても、環境に関することを話題にさせていただくようお願いします。

教職員の異動について

退 任

校 長	田 中 宏
副 校 長	陶 山 俊 二
地歴公民	渡 部 育 朗
保健体育	高 岡 智奈美
英 語	末 次 瑞 子

転 出

教 頭	大 森 教 雄 (米子工業)
主幹教諭	野 口 俊 彦 (境)
国 語	藤 原 真二郎 (米子工業)
国 語	安 田 真 希 (境)
地歴公民	松 重 信 (米子白鳳)
数 学	岩 崎 寛 (境)
数 学	奥 田 俊一朗 (米子西)
数 学	清 水 拓 哉 (津山)
理 科	岩 尾 仁 司 (境港総合技術)
理 科	濱 崎 翔 平 (八頭)
保健体育	伊 田 玲 (米子)
保健体育	長 尾 義 典 (境港総合技術)
英 語	山 崎 保 (米子白鳳)
家 庭	大 坪 千 尋 (境港総合技術)
情 報	狩 野 尚 志 (米子)
国 語	長 岡 賢 (倉吉東)
地歴公民	山 根 拓 (米子白鳳)
数 学	山 崎 郁 弥 (米子西)
数 学	久 文 晴 葵 (倉吉東)
理 科	八 木 春 佳 (境)
保健体育	香 川 龍 生 (米子白鳳他)
英 語	松 下 尚 子 (米子)
家 庭	木 谷 伸 子 (米子)

着 任

校 長	田 辺 洋 範 (境)
-----	---------------

転 入

副 校 長	三 谷 徳 彦 (倉吉西)
教 頭	倉 益 秀 江 (米子東)
主幹教諭	武 田 司 (米子東)

主幹教諭	橋 井 哲 朗 (米子東)
国 語	酒 井 麻衣子 (米子)
地歴公民	後 藤 真 樹 (米子工業)
地歴公民	足 立 隆 志 (稻生[三重])
数 学	田 中 宏 (米子東)
数 学	池 田 宗 一 (境)
数 学	谷 野 正 弘 (米子西)
数 学	中 永 晶 子 (新採用)
数 学	安 藤 彰 保 (倉敷古城池)
数 学	砂 流 由貴美 (米子南)
理 科	吉 井 昌 博 (倉吉東)
理 科	地 行 麻 里 (新卒)
理 科	田 中 浩 太 (新卒)
理 科	井 上 雅 雄 (境)
保健体育	今 岡 修 司 (境港総合技術)
保健体育	平 岡 知 子 (鳥城[岡山])
英 語	東 維 央 里 (新卒)
家 庭	岡 田 美和子 (境港総合技術)
芸術(音楽)	足 森 愛 梨 (青谷)
情 報	佐々木 章 人 (米子)
養 護	美 甘 あゆみ (米子南)
国 語	吉 田 幸 成 (米子工業)
保健体育	安 永 三 郎 (米子南)
英 語	畔 上 司 (境)
家 庭	石 黒 育 実 (米子南)

保護者が参加される 主な行事の予定

- 4月 入学式
- 5月 柏葉祭(体育の部)
- 7月 1年、2年、3年個別保護者会
PTA進路情報セミナー
- 9月 柏葉祭(文化の部)
- 10月 1、2年進路講演会
PTA大学キャンパス訪問
PTA人権教育講演会
- 12月 1年、2年、3年個別保護者会
- 1月 3年個別保護者会
- 3月 卒業式